

令和2年度 自己評価書・学校関係評価書

令和3年3月8日

真庭市立草加部幼稚園

園長 檜本 裕子

1. 草加部幼稚園の教育目標

<p>○ 教育目標 心身ともに たくましく 心豊かな子どもを育てる</p> <p>○ めざす幼児像</p> <ul style="list-style-type: none">・明るく元気な子ども・思いやりのある子ども・よく考える子ども
--

2. 本年度の重点目標（課題）

<p>○ 身近な自然や人とかかわる中で、心を動かす体験を積み重ね、豊かな心情の芽生えを培う。</p> <p>○ 主体的にかかわることができる環境構成に努め、自分で考え、根気強く取り組もうとする意欲や態度を育てる。</p>
--

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価	学校評議員評価
教育課程・指導計画	園の特徴や地域性を活かし、幼児の発達や興味に沿った指導計画を立案している。	4	4
行事	コロナ予防のために計画通りにはできなかったが、行事の見直しや内容の変更等により、必要な教育活動に努めてきた。	3	3
組織・運営	密な報連相で職員同士連携をとり、幼児も保護者も職員も楽しめる園運営に心がけてきた。	4	4
学級経営	少人数の良さを生かした学級経営で1人ひとりを大切に、工夫した関わりで集団としての育ちも保障するようにした。	4	4
特別支援教育	該当幼児はいないが、研修に参加するなど自己研鑽に努めた。	4	4
食育の推進（給食）	野菜の栽培や、給食時の指導などを通して食への関心を深めたが、感染予防のため調理体験はできにくかった。	3	4
安全管理・保健指導	定期的な安全点検や避難訓練の見直し、感染症予防の徹底に努めた。	4	4

研修（資質向上）	3年目研修など積極的に取り組んだが、園外研修の機会は少なかった。	3	3
情報提供 保護者・地域との連携	各種便りやHPで丁寧な情報提供に努めた。コロナ予防のため地域交流は計画通りできなかった。	3	3
小学校との接続・連携	園児・児童・職員が、日常的に密に関わり、連携をとってきた。	4	4
子育て支援	小規模園の特徴を生かし手厚い支援ができる反面、家庭状況等により母親支援が不十分なケースもある。	3	3

4. 本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等 (学校関係者評価委員総合所見含)

コロナ禍で計画通りの園運営は難しかったものの、行事の見直しを行い、小規模園だからこそできることや日々の教育活動の積み重ねにより、幼児の育ちを促し、本年度の重点目標は、おおむね達成できたように思う。

特に、頻繁な園外保育で草加部地域の豊かな自然を活かした経験や、米来幼稚園との7回の交流、草加部小学校とはますます日常的な交流ができており、身近な自然や人とのかかわりの中で、豊かな心情の芽生えが培えた。

学校関係者評価委員からも、少人数の課題に他園との交流を行うなどして対応できており、コロナ禍における園運営も適切だったとの評価をいただいた。

6. 評価結果・考察等（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

学校関係者評価委員から、交流の重要性や、様々な形での交流が必要との助言をいただき、来年度の実情に応じ、育ちに必要な経験ができるよう工夫して交流をしていきたいと考える。

わが園だからこそできる保護者との連携、小学校との連携、地域との連携も、引き続き、密なかかわりを通して、幼児の育ちにつなげたい。

特に、コロナ禍における人との接し方は注意を要するが、安全を確保しながら、人とのかかわりでの学びが得られるようにしていきたい。

また、家庭に関するアンケートでは、メディア対応についての反省が多く、家庭と連携し、園でも幼児に繰り返し伝えるなど、取り組んでいきたいと思う。

学校評議員・園評価基準

評価	基準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である